

【事例18】 工賃向上に向けた取組

施設名	Kichi-Kuro（神栖市下幡木）		
設置者	一般社団法人O.K.factory		
定員	14名		
利用者数	25名		
平均月額工賃の推移 （ ）は旧計算式	R3：20,029円	R4：20,058円	R5：27,629円 (15,863円)
主な作業内容	木工製品の製造・販売、施設外就労（農福連携）、内職作業		

工賃向上に向けたアドバイス

- **製造・販売しているのは「授産品」ではなく「ハンドメイド商品」**
 - ・ 県内外で開催される一般のハンドメイドのイベントに積極的に参加
→商品そのもので勝負。イベントは販路確保のみならず、売れ筋商品の把握や新商品の開発、新技術の習得など「ヒントの場」として活用
- **収益確保と福祉的支援とのバランスが大事**
 - ・ 収益を確保するため、施設外就労（農福連携）や内職なども実施
 - ・ 割の合わない作業（例：単価が低い、職員だけが作業を行う など）は思い切って止める

その他

- ・ 木工製品を製造するきっかけの一つは「他の事業所で取り組んでいなかった」ため
→主な作業工程（例：カンナかけ、切り分け・成型、ヤスリがけ、色付け）を踏まえて、利用者が行う作業の切り分けを工夫
- ・ 作業量や納期等に合わせて利用者の作業を振り分け
（例：午前中は木工製品の製造、午後は施設外就労）
→多くの作業に従事してもらい、作業に飽きさせないとともに慣れや癖が出ないようにしている
- ・ イベントや口コミを通じて、個別のオーダーやハンドメイド商品製造の下請けも担っている



利用者が製造作業に従事した木工製品の数々
（オーダー商品も数多く製造している）

施設外観



施設内



作業の様子①

(商品に同封するメッセージカードの作成)



作業の様子②

(製造過程で出た木粉をもとに「商品タグ」を作成)



作業の様子③

(切り抜き、成型作業)



作業の様子④

(ヤスリがけ作業)

